

## 「新しい里海をつくろう」 (第5学年)

### 1. ESD を生かした授業づくり

#### (1) 単元名・学校種と学年

「新しい里海をつくろう」 小学校 第5学年

#### (2) 単元の概要

本単元は、昔から「御食つ国（みけつくに）」（天皇の食糧、神に供える御饌（みけ）を奉る国）と呼ばれ、沿岸漁業と風光明媚な景観を生かした観光業が地域経済の基盤となっている三重県志摩市が取り組んでいる「新しい里海創生」をもとに、社会・経済・自然がつながっていることを知り、持続可能な地域を考えていくことをねらいとしている。

三重県志摩市は、真珠やおおさの養殖などの養殖業、的矢かき、あおりふぐ、アワビ、伊勢海老など海の幸が豊富に採れる地域である。また、森林も豊かで、かつては薪炭の生産も行われていた。山・海・人がつながっている自然豊かな里海である。近年では、「稼げる！学べる！遊べる！新しい里海」を掲げ、持続可能な地域社会創りを目指している。従来の里海という概念だけではなく、観光産業の活性化など稼げるというメリットや、いつまでもその場所に住み続けられるように稼ぐ（生きること）を考えたと、自然環境も損なうことなく志摩全体を盛り上げようとしている。

本単元で ESD の視点に立った学習指導を進めるにあたっては、里海は山・海・人がつながりあって守られてきているものであり、その摂理が崩れると成り立たなくなること【相互性】を理解させたい。また、豊かな海の幸をめあてに人間が自分たちの私腹を肥やすためだけに生活すると、限りある海的环境が変化するだけでなく、そのわずかな変化が未来の子どもたちに悪影響を及ぼすこと【有限性】を理解させたい。人と海とのバランスが重要であることにも気づいてほしい。

そして、志摩市では、持続可能な沿岸資源を利用するため「稼げる！学べる！遊べる！新しい里海」創りを目指しているが、自分たちの校区でも持続可能なまち創りはできないかと、「前栽ブランド」を考えることにより、自らが主体的に行動する力【責任性】もつけていきたい。

#### (3) ESD の視点の明確化

##### 【持続可能な社会づくりの構成概念】

構成概念Ⅱ 相互性…山・海・人、それぞれが関わりあっていること

構成概念Ⅲ 有限性…自然は変化すること

構成概念Ⅵ 責任性…「稼げる！学べる！遊べる！新しい里海」を創るためには、「志摩ブランド」を一人一人が主体的に考えて行動すること

## 2. ESD の視点を生かした授業の実践

### (1) 単元の目標（重視する能力・態度）

#### 《関連》

里海について、人同士のつながり、自分と地域・自然とのつながりに関心を持ち、それらを尊重し、大切にすることができる。 【関心・意欲・態度】

#### 《未来》

里海をさまざまな視点から捉えることで、人の可能性や自然の有限性に気づき、これからの里海に向けて自分ができていることを表現することができる。 【思考・判断・表現】

#### 《参加》

里海に関する情報を集め、自分の発言や行動に責任を持ち、主体的に参加することができる。 【技能】


#### 《多面》


山・海・人のつながりを様々な視点から捉え、人々が協力して「新しい里海」創りに向けて努めていることを理解することができる。 【知識・理解】

### (2) 評価規準

《関連》 関心・意欲・態度	《未来》 思考・判断・表現	《参加》 技能	《多面》 知識・理解
①里海について、関心を持ち、意義や人々のつながりを尊重しようとしている。	①里海を多面的、総合的に考えようとしている。 ②「新しい里海」について、自分にできることを考えることができる。	①里海の特徴や人々との関わり、自然の有限性について調べ、自分にできることを実践しようとしている。	①自然の摂理や人々の努力を理解している。

### (3) 単元の計画（総時数 11時間）

時	主な学習活動と内容	◇教師の支援	◆主な評価
	<p><b>【三重県志摩市の里海について知ろう】</b></p> <p>○志摩市英虞湾の写真を見て、思うことを出し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観が美しい</li> <li>・リアス式海岸 等</li> </ul>  <p style="text-align: center;">&lt;英虞湾&gt;</p> <p>○「里海」とは何なのか？を知る。</p>	<p>◇英虞湾の写真を見せ、思うことを出させる。（今も美しい景観があることを意識させる）</p> <p>◆里海について関心を持ち、多様な観点から捉えようとしている。 <span style="float: right;">《関連》</span></p> <p>◇里海について理解させる。</p>	

	<p>○人間も生き物として、その地域に独自の豊かな生態系を育んできたことを知る。</p>	<p>◎里海とは…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業活動や日々の生活を通じて人と海とが関わりながら豊かな自然環境が保たれてきた沿岸域のこと</li> <li>・海外でも「SATO-UMI」という</li> </ul> <p>◇人もその地域に住むひとつの生き物として他の生き物たちと強くつながることで、栄養の循環に関係し、その地域に独自の豊かな生態系を育んできたことをおさえる。</p>
<p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p><b>【志摩市の里海について学ぼう】</b></p> <p>○グループに分かれて里海のキーワードを調べ交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>生物多様性</b>・・・ 英虞湾周辺には、たくさんの生物がいる。 食物連鎖との関係は？</li> <li>・ <b>景観</b>・・・ リアス式海岸が美しい。人と海と山が共存している。</li> <li>・ <b>森林との関わり</b>・・・ 森林は大事な保水機能の役割をしている。</li> <li>・ <b>干潟について</b>・・・ 干潟が減ってきている。なぜ減少しているのか？干潟再生は必要？</li> </ul>	<p>◇それぞれが課題を設定し、課題に沿って追究させる。</p> <p>◇多様な生物がいることを理解させる。</p> <p>◇森林で蓄えられた養分が海へ流れ、海へ栄養を与えていることを理解させる。</p> <p>◇干潟は「海のゆりかご」と呼ばれ、たくさんの生き物がいること、また、海の浄化力があることを理解させる。</p> <p>◆自然の摂理や人々が関わって現在の姿があることを理解している。 <b>《多面》</b></p>
<p>5</p> <p>6</p>	<p><b>【新しい里海について学ぼう】</b></p> <p>○「<b>稼げる里海</b>」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「<u>稼げる</u>」ってどういうことだろう？ →作り育てる漁業など水産業の活性化 →観光業の活性化</li> </ul> <p>○「<b>学べる里海</b>」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「藻場」って何だ？里海と関係があるのかな。</li> <li>・ 自然を大切にできる人になろう。</li> </ul>	<p>◇「稼ぐこと＝生きること」であることを理解させ、経済の活性化が里海の活性化につながることを知らせる。</p> <p>◇藻は海の中の二酸化炭素や栄養分を吸収し、太陽の光を利用して酸素を作りだしていること</p> <p><b>&lt;養殖場&gt;</b></p> 

7	<p>○「遊べる里海」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を大切にするのに、遊んでもいいの？</li> <li>・自然体験ができるようだ。</li> </ul>	<p>を理解させる。</p> <p>◇海水浴や潮干狩りを通して直接海に触れることで、文化的、精神的に豊かな生活を送ることができることを理解させる。</p> <p>◆新しい里海について多面的、総合的に考えようとしている。 《未来》</p>
8  9 10  11	<p><b>【志摩ブランドに学ぼう】</b></p> <p>○学んだ事を基に未来に続く「新しい里海」が大切であることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい自然があっておいしい魚が採れること、美しい真珠が育つこと、そのつながりの大切さについて考える。</li> </ul> <p>○「前栽ブランド」を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「持続可能な前栽のまち」を創るため、社会・経済・環境のつながりが重要であることを知り、自分たちが考える「前栽ブランド」をつくる。</li> </ul> <p>○プレゼンテーションをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えた「前栽ブランド」をプレゼンテーションする。</li> </ul>	<p>◇志摩の物それぞれが単独ではなく、全てがつながって一つの物となっていることを理解させる。</p> <p>◇社会・経済・環境のつながりの面から、自分たちの校区でも考えられることはないかを考えさせる。</p> <p>◆「前栽ブランド」を考え、伝えようとしている。 《参加》</p>

--	--	--